

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	BNP値に着目した胸部放射線治療の心毒性に関する研究		
2. 対象患者	食道癌に対して放射線治療が行われ、かつ治療前後のBNP値が測定されていた87名		
3. 対象となる期間	2014年 4月 1日 ~ 2019年 6月 30日		
4. 実施診療科等	放射線治療科		
5. 研究責任者	氏名	畑山佳臣	所属 附属病院 放射線部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任)	なし		
7. 研究の意義	胸部への放射線治療において重要な副作用は治療後半年以内に発症する放射線肺臓炎ですが、心臓への影響も看過できません。放射線治療に起因する心臓の副作用は冠動脈疾患(心筋梗塞など)、心筋症、弁膜症、心膜炎などがあります。半年前後で認める心膜炎(心嚢液貯留)以外は、10-15年の経過で発症することが明らかとなっておりますが、放射線治療直後に心臓へどれだけのダメージが加わったかに関してはこれまで明らかにされていません。そこで、我々は心不全等のバイオマーカーとして用いられる血液検査項目のBNP値に着目して放射線治療直後の心臓へのダメージを遡及的に検討します。		
8. 研究の目的	過去に放射線治療が行われた食道癌において治療前後のBNP値の変化より心臓へのダメージの有無を明らかとすることを目的としています。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	電子カルテおよび放射線治療データベースを用いて、治療内容(放射線治療の方法、化学療法併用の有無等)、治療前後のBNP値の情報を収集します。さらに放射線治療計画装置を用いて、心臓容積と心臓線量の情報を収集します。収集した情報より治療前後のBNP値の平均の比較、治療前後で有意に上昇した群とそうでなかった群で心臓線量の比較を行い、胸部への放射線治療が心臓に与える影響を検討します。		
10. 個人情報の保護	研究結果は学会と論文で報告しますが、患者さん自身の個人情報は全て匿名化して管理し、個人情報が漏れることのないようにします。報告の際にも個人名やそれを識別できる情報は一切使用しません。対象患者さんから拒否の申し出があった場合は、対象者から除外しデータを削除します。ただし、学会発表や論文投稿後の場合、すでに公表されたデータの修正には応じられませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	特にありません		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 放射線部 畑山佳臣		
	電話	0172-39-5103	FAX 0172-33-5627